

平成30年度平内中央病院新改革プラン評価委員会会議録

日 時 平成30年11月5日(月) 15:30開会

場 所 平内中央病院会議室

出席者 事業管理者 委員7名 事務局2名

会議概要

1 開会 管理者挨拶

2 委員会所掌事項及び委員紹介

(1) 平内中央病院新改革プラン評価委員会について

資料による説明(事務局)

(2) 委員紹介

資料による説明(事務局)

3 議題

(1) 会議の公開について

委員長より昨年度同様(会議録の公開)としたい旨提案。委員の賛同を得た。

(2) 新改革プランの評価について

資料による説明(事務局)

質疑応答

委員A: 評価という事で、目標値と実績値を照らし合わせてみれば、改善されている努力が伺える。改善されたという事は、評価されるべき点であり、今後もこのままお願いする。

その中において、未収金対策についてお聞きする。監査委員として毎月病院の収支について報告を受けているが、患者からの未収金が見受けられる。この患者からの未収金は年々減少しており、努力も認められるが、他病院の改革プランでは、収入増加確保対策として未収金対策を記載しているところもある。この患者からの未収金対策において、平内中央病院ではどのような対応を実施しているのか教示願いたい。

もう一つは、リハビリの評判がいい。平内中央病院では在宅医療についても実施しているが、今後、在宅医療の需要が高まっていくと考えられる。このことから、今後在宅医療についての考え方についても願う。

事務局: まず、未収金対策について、当院の未収金対策としては、一般的な電話、督促通知また訪問を実施している。それでも回収できない場合については、手始めに内容証明郵便で催告書を発送し、反応のない方などは、裁判所へ支払い督促の

申し立てを実施し、最終的には強制執行という手順となっている。また、未収金を未然に防ぐことを目的に、平日の時間外や土日に病院にかかる患者からは、平成27年度から預り金制度を導入している状況である。

次に、在宅医療について、今年度（30年4月）から在宅医療・介護を推進するために、在宅診療部を設置した。在宅診療部には、院長はじめ看護師、リハビリスタッフ、管理栄養士そして連携室のスタッフで構成されており、各職種の専門性を最大限に活かし在宅生活を支援していくこととしている。今年度は、訪問リハスタッフを1名増員し件数も増加させることができている。今後は連携室が窓口となり、訪問診療、訪問看護、訪問リハ、訪問栄養食事指導についても実施していくこととしている。

委員B：私から2点ほど、まず、ホームページが新しくなったという事で、拝見した。とてもきれいにまとまっていると思いますが、他病院のホームページを見ても、看護師の募集などが結構大きく掲載されていると思っている。それらに負けにくいくらい大きく目立つように掲載したらどうか。

もう1点は、繰入金の説明があったが、29年度の実績で計画より増えているのは、赤字解消のために繰入したものなのかどうか、この2点お願いする。

事務局：ホームページについては、ご指摘のとおり、今以上の内容充実を図らなければならないと思っている。他病院では、ホームページを見て求人採用に応募してくる人もいと聞いていることから、理想としてはそのようなレベルまでに上げていきたいと考えている。もう少しお時間をいただきたい。

繰入金については、計画と当初予算編成時からの齟齬分と、国保特別調整金（国補助金）が、国保会計経由での入金となることから、このような形になったものであり、赤字を解消するための繰入ではないことをご理解いただきたい。

委員A：最後に私から一つ、平内中央病院においては、収支計画の実績がプラス収支となっていることや病床利用率についても、ここ10年間では最高の値であった。これも偏に院長先生はじめ職員の皆さんの頑張りのお蔭であると思っている。特に平成26年度院長赴任から、医師、事務、職員全員まとめてきた賜物であると評価している。ただ、今後も繰入金を投入していかなければならないということで、まだまだ改善しなければならないことが山積している。再度気を引き締めて、町民に信頼される病院づくりに励んでいただきたい。

質疑終了

総合評価として、計画とおりの状況であったことは評価するところである。反面、計画を下回った項目があることや、改善されるべき点があることを踏まえ、目標達成できるよう経営努力が求められる。と記載する旨了承され会議を終了した。

署名委員

倉内 仁

署名委員

増村 睦子